

特定非営利活動法人  
マナー教育サポート協会 会報誌

## 第27号

# マナーは愛



### <目次>

- |                        |              |       |
|------------------------|--------------|-------|
| ■ ハチドリのひとしずく           | 理事/相談役 岡部 達昭 | (P 1) |
| ■ 丸の内キッズジャンボリー         | 大徳 はるみ       | (P 2) |
| ■ 子どもたちからパワーをもらえるよ     | 飯野 真梨子       | (P 4) |
| ■ 感動リレーエッセイ⑥           | 大藪 昌代        | (P 5) |
| ■ 花天の会 第11回「青葉の集い」     | 田中 昌子        | (P 7) |
| ■ 認定講師の誕生              | 第15期生        | (P 9) |
| ■ 伝統的工芸品               | 島崎 和子        | (P11) |
| ■ 活動報告及び予定             | 各事業部・業務サポート部 | (P12) |
| ■ ご支援いただいている皆様         | 事務局          | (P14) |
| ■ 会員募集のご案内 運営体制 お問い合わせ | 事務局          | (P15) |

# ハチドリのはとしく

～いま私にできること～

理事/相談役 岡部 達昭

森が燃えていました  
森の生き物たちはわれ先にと逃げていきました  
でもクリキンディという名のハチドリだけは行ったり来たり  
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは  
火の上に落していきます  
動物たちはそれを見て  
「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑います  
クリキンディはこう答えました  
「私は、私にできることをしているだけ」



この話は南米アンデス地方に伝わる民話です。日本では、2005年に辻信一さんが紹介してから、ネット上でも話題になりましたから、ご存じの方も多いでしょう。今も静かにブームが続いています。ノーベル平和賞を受け、「モッタイナイ」で有名になったケニアのワンガリ・マータイさんも、この話に感動して世界各地の講演で伝えていたそうです。

ハチドリは世界最小の鳥です。最も小さい種は全長6センチ、体重2グラムしかないそうです。その小さな鳥が、燃え盛る炎の中を行ったり来たりしながら、一滴の水を運ぶ姿を想像すると涙がこぼれます。東日本大震災を始め、大きな災害が起こるたびに、全国各地から仕事を休んで駆けつけるボランティアたちの善意が、小さなハチドリの姿と重なるのです。

今の日本の子どもたちは、2歳ごろからスマホを握り締めて育ちます。若者たちは人間関係を磨くよりも、IT関係に習熟することの方に熱心です。そして企業社会にとっては、怒涛のように押し寄せるAI時代への対応が最大の関心事なのでしょう。先ごろの選挙でも、教育やマナーの重要性を公約に掲げる人は、残念ながら誰一人いませんでした。経済や外交が、国政の重要な根幹であることは勿論ですが、その基本を支えるのは、教育です。脈々と伝えられてきた、日本語やマナーの文化なのです。

「私は、いま私にできることをしているだけ」。小さなハチドリのこの信念は、マナー教育サポート協会の活動を支える言葉ともなるでしょう。

私が好きな言葉をもう一つご紹介してこの稿を終わります。ドイツの宗教学者マルティン・ルターの言葉です。「世界が明日滅びるとも、私は今日リンゴの木を植える」

(元財団法人NHK放送研修センター 理事 日本語センター長)

# 丸の内キッズジャンボリー 2017

IN 東京国際フォーラム

8.15(火)・16(水)・17(木)

東京国際フォーラムの夏休み恒例、子どもたちへ未来の夢を育む、参加体験型イベント「丸の内キッズジャンボリー2017」に、約11万1千人（延べ人数）の皆様がご来場されました。

マナー教育サポート協会は、9回連続で出展することができました。私たちのワークショップは、「お箸マスターになろう！できるってかっこいい」をテーマに、食事のマナーと正しいお箸使いを楽しく覚えていただきました。

各回の定員は24名で、1日3回を3日間行い、合計216名のキッズが来場しました。参加されたのは小学生の子どもさんたちで、保護者の方はご見学をお願いしました。

お箸の使い方・ビーズひろいゲーム・ジャンボかるたにチャレンジ！ マスターした全員に修了証を差し上げ、夏休みの自由研究にもなるお土産と、やってはいけないお箸使いをイラストで表現したランチョンマットをお持ち帰りいただきました。

今年も、株式会社峠喜重朗商店様・吉井商事様より、特別に仕立てた子どもサイズの割り箸をご提供いただきました。

皆様からのご支援を心より感謝いたします。

当協会の活動に、ご賛同いただける企業や団体の皆様、ご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

協賛いただきました団体様



## ～ 子供たちからパワーをもらえるよ！ ～

認定講師 飯野 真梨子

皆様が口を揃えてそう仰るので、イベントの大きさと雰囲気はぼんやりと想像していました。そして終わる頃には、子供たちはもちろんのこと関わってくださった全員のことがはっきりと大好きになり、パワーが湧いてきました。

まず初日、東京国際フォーラムに足を踏み入れてすぐに、ロビーギャラリーのインフォメーションで、当日整理券を取るために並んでいる親子連れの長蛇の列。キッズジャンボリーの活気と大きさに驚きました。



そして1日目が始まり、講師各々の工夫が盛り込まれた講義に惹きつけられました。憧れの先輩方が緊張感を持ち舞台に臨んでいる姿を見て、挑戦している人の美しさを感じました。挑戦しているからこそ、人の心に寄り添える優しさと、引っ張っていく強さの両方を持っているのだろうかと思いました。

講義中、お箸でビーズを移すゲームでは保護者の方々が子供のすぐそばまで来て熱心に写真を撮っていたことが印象的でした。今日のことが家族の思い出の一ページになると思うと、「きらきら輝く思い出にしたい」という気持ちが湧き上がり、責任感から身が引き締まりました。

今回初めて参加させていただき、挑戦は感動を生み知ることは豊かな心に繋がることを体験しました。今まで苦手だった子供を好きになり、皆様と共に一つのを創り上げ、時間を共有できたことは大きな財産になりました。今後もキッズジャンボリーの歴史が続くことを願っています。愛溢れる空間に同席させていただき、誠に有難うございました。私が初めて講師をした日の感動は、今でもはっきりと覚えております。とても貴重な体験となりました、この出会いに心から感謝しております。



## 感動リレーエッセイ⑥

講師養成事業部 大藪 昌代

地球温暖化が進み、やはり日本の夏も年々暑くなっているように感じます。私は今年の夏、特に7月の暑さに閉口してしまいました。それは人生初めて、軽い熱中症にかかったような錯覚を覚えるほどだったからです。8月に入ってからは雨の日ばかりで、東京の雨は連続21日続き、雷を伴うゲリラ豪雨の日もありました。風鈴のチリンチリンという音色とあいまった、あの風情ある夕立もなくなってしまったように感じます。今年はこのような天候の夏でしたが、皆様にとってはどのような夏でしたでしょうか。



私はこの夏、笑顔とたった一言の力の素敵さを感じた夏でした。

暑い日に、男性の方がとても重そうなビジネスバッグを持ち、お仕事柄のためネクタイをされて、スーツのジャケットを手に抱えられている姿を見ると、もう本当に頭が下がる気持ちと、その気持ちを乗り越えて、熱中症大丈夫かな？と少し心配な気持ちにもなります。そして暑い日の電車の中は、暑さにうんざり、少し憂鬱そうな表情の方が、私も含め沢山です。そして、限界を超えた暑さは人の身体だけでなく、人の心からも水分、潤いを干からびさせてしまうように感じます。

とある時に車内から突然、暑さと比例したような大きな怒鳴り声が聞こえてきました。声の方向を振り返ると、理由はわからないのですが、大人二人の方が顔を真っ赤にして、口論になっていました。お二人とも、汗が身体中から滝のように流れているのが、お召しになっている洋服の様子でわかるほどでした。きっとお二人ともあまりの暑さのせいで苛々されてしまっていたのかなと、次の駅で降りた私はほんやりそんなことを思いながら、そして、自分が口論したわけではないのに、何か重たいような気持ちを引きずって、日傘をさすのも忘れて、移動先に向かいました。

その翌日、また電車の中で、思いもかけないことに出逢いました。その日も昨日に負けないほどの暑さでした。私は座っていたのですが、腕にスーツのジャケットを抱えた男性がお二人、私の目の前に立たれました。お二人ともご自分のポジションが決まるやいなや、ビジネスバッグを足もとに置かれ、ズボンのポケットからハンカチを取り出して汗を拭き、お二人とも、ご自分のバッグからペットボトルを取り出しました。そうするとお一人の方が取り出したペットボトルを見て、あーっつ、と少し声を出されて落胆、ご自分自身に恨めしいような表情をされて、そのペットボトルを鞆にまた入れました。そうです、そのペットボトルはもう空っぽだったのです。飲み切ってしまうてから、新しいペットボトルを買うタイミングを見つけられず、電車に飛び乗られたのだと思いました。その時、隣に立たれていた男性の方が、コンビニの袋からペットボトルを一つ取り出して、『どうぞ』と、たった一言ですが、そう言われて、落胆されていた男性に冷たいお水のペットボトルを差し出されたのです。1本ではすぐ無くなってしまおうからと思われたのか、2本買われてい

たようでした。落胆されていた男性はびっくりされていたのですが、差し出した男性が、『今日もたまらないですよ（暑さが）』と、暑さで少しうんざりされながらも、笑顔で言われました。落胆されていた男性の表情が笑顔に変わって、『本当にたまらないです、有難うございます』と言って受け取られました。そのタイミングで電車は次の駅に着き、私は電車を降りました。電車を降りた私は何故だか少し鼻歌を歌ってしまうような、気持ちが浮き立ち、また日傘をさすのをうっかりして、次の移動先に向かいました。

連日、日傘をさすことを思わず忘れてしまった私ですが、忘れた気持ち、理由は違いました。この時に、ギスギスしたような尖った気持ちは当人達だけでなく周りにも少なからず伝染、影響し、また、優しい気持、嬉しい気持も当人達だけでなく周りにも伝わっていくのだと改めて肌身で感じました。

『マナーは愛』という言葉（マナーとは相手を思いやる気持ちをあらわしたもの）を研修の中でお伝えしておりますが、限られた時間の中で、初めてお会いする方に、そして、大人への階段の入り口に立った中学生の方にお伝えすることは、時として難しいな・・・と感じる時もあります。ですが、そんな限られた時間の中でも、生徒の皆さんと心を通い合わせる事ができた瞬間の嬉しさや幸せな気持ちは、どんな言葉で表せばいいのかわからないほどです。

特別な言葉ではなく、日常の中での何気ない出来事を通して、『マナーは愛』という言葉の大切さをお伝えしていくことができれば・・・と、改めて感じた今年の夏でした。

次は、加藤 恵子さん にバトンタッチ！



# 花天の会

## 第11回 「青葉の集い」

講師養成事業部 田中 昌子

梅雨入りしたばかりの6月11日、今年も青葉の集いが開催されました。岩下理事長をはじめ15名の参加者は四ツ谷駅に集合し、本日の研修場所である錦屋マリエマリエ四ツ谷本店に向かいました。

錦屋社長の勝田様をはじめお店のスタッフの方々に笑顔で迎えられ、大きな暖簾のかかったお店に入店すると、そこは私の抱いていた呉服屋さんのイメージとは違い、現代風のモダンな雰囲気のお店でした。



店内の大きなテーブルを参加者と本日の講師である小田桐はるみ先生と囲みながら、研修がスタートしました。小田桐先生はこの業界の第一人者である江木義彦様の事務所に所属される着物スタイリストで、ヨルタモリや婦人画報などで、着付けとスタイリングをなさっています。女優の宮沢りえさん、中谷美紀さんなどを担当されているそうです。

研修は参加者一人一人から小田桐先生へ質問をして、それに回答していただくという形で進行していきました。例えば、最近では浴衣を着る際の帯は、最初から形が出来ていてはめるだけの「作り帯」というものが豊富に出回っているが、そのことについてはどう思うか、という質問に対して、着物初心者の第一歩としては良いのではないかというお答えをいただきました。また、総柄の着物の時は帯は無地にした方がよいということや、体型が小柄な人は着物の柄も小さいものを選び、帯幅を狭くするとよい、というような着物に対する知識もたくさんお話しいただきました。

中でも印象に残ったのは、着物と帯の組み合わせについてでした。実際に店内にある浴衣や帯、帯揚げなどを広げながら、柄や色を組み合わせせて見せていただきました。帯の柄にも古典柄や少しカジュアルなものなど格の違いがあり、洋服を選ぶときは違った奥深さと難しさを感じました。



また、実際に参加者に着付けをしていただく体験もいただきました。雑誌で女優の松坂慶子さんが実際に着たピンク色の訪問着や、手の込んだ金糸の豪華な刺繍が施された留袖を小田桐先生に着付けていただきました。最後に、岩下理事長も水色の夏らしい着物を着付けていただき、実際の撮影の時と同じポーズをとりながら、参加者のフラッシュを浴びていました。

今回、小田桐先生の着物のお話を聞いて、しばらく着物を着ることから離れていた私も、まずは夏に浴衣を着ることから始めてみようと思いました。他の参加者の皆様も、同じように思われたのではないかと思います。

その後、第2部の会場である「たん熊北店」に移動をして懐石料理をいただきました。ロイヤルパークホテル ザ 汐留の25階にあるお店は、窓からすぐ隣に浜離宮、目の前にスカイツリーが望める素晴らしい眺望でした。そこで季節の感じられるお料理の数々を、岩下理事長はじめ参加者の皆様との楽しいおしゃべりと一緒に楽しみました。

今年の青葉の集いは、着物の奥深さをあらためて感じる事が出来る有意義な会となりました。最後に、今回の青葉の集い開催にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。来年の青葉の集いも楽しみにしております。



## 協会認定マナー講師誕生 第15期生の皆様 おめでとうございます



<合格者> 林 三紀 中山 有子 内田 安紀子 \*敬称略

平成29年9月、新たに3名の「協会認定マナー講師」が誕生いたしました。そこで、認定講師の方々に、認定証授与式後の感想をご寄稿いただきました。皆さまの更なるご活躍をお祈りいたします。そして、これからもご縁がありますようにと願っています。

## マナー講師養成講座を修了して

認定講師 内田 安紀子

マナー講師養成講座を受講して、たくさんの事を教えていただきました。岩下先生、澤村先生をはじめ、諸先生方、大変お世話になりました。私が解るまで、時間をかけて説明していただいた事が何度もあって、助けていただきました。本当にありがとうございました。

また、一緒に受講していた皆さんとは、おしゃべりしたり、励まし合ったりして、とても楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。

先生方、受講生の皆さんは、いつも私の気持ちを考えて接してくださいました。このことは私の宝物ですし、私の日常も変えるような出来事でした。寄り添う心・なにかして差し上げられることはないかを常に考える事を学びました。

これからも精進して参ります。どうぞよろしく願いいたします。



## 一年半を終えて

認定講師 林 三紀

以前のわたしは、日本に生まれ育って何十年と経つというのに、日本の礼儀作法について何も知らないことに、漠然とした不安を抱えておりました。また、日本語教師として、留学生からの質問に、格好良く答えたいという見栄もありました。そんな時、マナー教育サポート協会と出会い、岩下先生のご指導を受けることができました。



マナーとは「機械的な形」だと思い込んでいたわたしに、「マナーは愛、相手に対する思いやりの心」という先生の教えは、衝撃的でした。このような形式にとらわれた、考えの浅いわたしにも、岩下先生は丁寧に指導くださいました。大変有意義な一年半を与えていただき、心より感謝申し上げます。

今後は、学んだ「マナー」を仕事や普段の生活に活かしていけるよう、一層の努力をしてまいりたいと思います。

## マナーは愛と共に成長を！

認定講師 中山 有子

一年半前、初めて初級コースに伺った事がつい昨日のように思い出されます。教室のドアを開けると岩下先生の優しい笑顔が緊張していた私をそっと包んで下さいました。一ヶ月に一度の講座にはいつも「愛」を感じていました。試験も終わると勉強したくなる。不思議でした。愛に導かれていたのでしょうか。マナー講師養成講座を卒業できたこと、マナー講師の認定証をいただけたこと、岩下先生や諸先生方の温かい励ましや御指導のお陰と心より感謝申し上げます。



ここからが出発点。生活と共に学び、これからの日本を作っていく子供たちに「マナーは愛」を伝え、少しでも力になればと、目標はふくらみます。

一緒に勉強できた皆様との一期一会を大切に明るい未来に向かって、前に進んでいきたいと思っております。これからもよろしくお願ひ致します。

# 伝統的工芸品

## ～萩焼【山口県】～

業務サポート部 島崎 和子

萩焼は、文禄慶長の役（1592～98）の豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に、朝鮮より連れて来られた陶工を、毛利輝元が萩藩の御用窯としたことを起源としています。

古くから「一楽二萩三唐津」と呼ばれ、茶人好みの焼き物は、やわらかで素朴な風合いと手取りの良さが特徴です。貫入により茶渋が滲みて胎土に色合いの変化が生じ、茶人は、この変化を「萩の七変化」と称して珍重しました。

### 萩焼 室生窯 小川 浩延様に、伺いました

大学時代に陶芸の勉強をされました。最初は信楽焼を作陶しました。事情があり信楽焼は断念され、デザイン事務所で働きました。その後、知人の誘いがあり、萩焼を作陶するようになりました。萩の伝統と、信楽の陶芸技術を取り入れて、茶陶、日用品など、新しい萩焼の創作と作陶をしています。



#### ■箸置に込めた願い



家族そろって、ゆっくりと夕食を楽しむ機会が減ったと思います。刺身のパックを、そのまま食卓に出してしまうなど、味気ない食卓になっていないでしょうか。子どもに、箸置に興味を持ってもらいたい、そして、「これ、なあに？」と聞かれたとき、箸置きの説明や、食卓の準備を手伝わせる。そんな時間を持ってほしくて箸置を作っています。毎日は無理であっても、そういう時間が大切だと思っています。

#### ■ご愛用いただくために

陶器は使う前ごとに濡らしてほしいです。なぜなら陶器は滲みるからです。陶器とは、そういうものです。しかし、お客様に、それを伝えると「えー！面倒です」となり、「では買いません」になることが多々あります。ですから、使い始めのみ、湯通ししてくださいと話すこともあります。また、本当は、売り手と買い手が、ゆっくりと話しをして、品物を買ってほしいと思っています。そのほうが、より大事に使うのではと思うからです。会話も楽しんでほしいのです。ただ、それには時間がかかります。デパートなど、多くのお客様がいる場所では、売り手に、そこまでは求められません。説明を省いても仕方がないと思っています。



今回の取材は、慌ただしく生きていませんか？と問いかけられた気持ちがしました。今に、心を含めて生きていこうと改めて思いました。

# 活動報告及び予定

## 活動結果報告（第15期上期：2017/4/1 - 2017/9/30）

### 【講師養成事業部】

- 4月 第16期生 中級コース開講
- 第15期生 プロフェッショナルコース開講
- 8月 各コース修了
- 各コース総復習と勉強会
- 中級コース修了試験実施
- 「協会認定マナー講師」資格試験実施
- 9月 認定証授与式（第15期生）

### 【研修事業部】

#### ◆中学校等を対象にした講演

- 4月 東京都 市村自然塾関東様（男子・女子）
- 5月 静岡県 JFA アカデミー福島様（女子）
- 愛媛県 JFA アカデミー今治様
- 6月 茨城県 土浦市立土浦第六中学校様
- 埼玉県 富士見市立西中学校様
- 東京都 足立区立第六中学校様 荒川区立第五中学校様
- 荒川区立第一中学校様 北区立明桜中学校様 星美学園中学校様
- 静岡県 JFA アカデミー福島様（男子）
- 7月 東京都 江戸川区立松江第三中学校様 文京区立茗台中学校様
- 葛飾区立中川中学校様 立正大学付属立正中学校様
- 神奈川県 川崎市立中原中学校様
- 静岡県 JFA アカデミー福島様（女子）
- 大阪府 JFA アカデミー堺様
- 熊本県 球磨郡山江村立山江中学校様 JFA アカデミー熊本宇城様
- 9月 千葉県 千葉市立磯辺中学校様 県立天羽高校様
- 東京都 足立区立江北桜中学校様 足立区立花畑中学校様
- 足立区立六月中学校様 北区立稲付中学校様
- 世田谷区立尾山台中学校様（2回） 文京区立第六中学校様
- 静岡県 JFA アカデミー福島様（男子・女子）
- 愛媛県 JFA アカデミー今治様

#### ◆大学生を対象にした講演

- 4月 埼玉県 東洋大学 川越キャンパス様

#### ◆子ども向けイベント

- 8月15日（火）・16日（水）・17日（木）
- 東京国際フォーラム 丸の内キッズジャンボリー出展
- 「お箸マスターになろう！できるってかっこいい」食事のマナーと正しいお箸使い

### 【業務サポート部】

- ・伝統的工芸品の紹介
- ・会報誌の作成
- ・ホームページの維持管理

**【花天の会（協会認定マナー講師の会）】**

6月 青葉の集い（第11回）

第1部 着物に関する知識を学ぶ

会 場 錦屋マリエマリエ四谷本店

講 師 小田桐 はるみ様（江木良彦事務所）

第2部 和食のマナー

会 場 たん熊北店（ロイヤルパークホテル ザ 汐留 25F）

 9月 勉強会 講義内容 AI時代のコミュニケーション能力研修  
 「電話対応とマナーを考える」

講 師 岡部 達昭先生

**活動予定（第15期下期：2017/10/1 - 2018/3/31）**
**【講師養成事業部】**

10月 第17期生 初級コース開校式・開講

第16期生 プロフェッショナルコース開講

**【研修事業部】**

 10月 浦安市立入船中学校様 浦安市立高洲中学校様  
 千葉市立小中台中学校様 千葉市立加曾利中学校様  
 葛飾区立東金町中学校様 江東区立第二大島中学校様  
 江東区立深川第六中学校様 中野区立緑野中学校様  
 綾瀬市中央公民館様

 11月 足立区立千寿桜堤中学校様 練馬区立豊玉第二中学校様  
 練馬区立光が丘第二中学校様 江戸川区立西葛西中学校様  
 江戸川区立篠崎第二中学校様 葛飾区立水元中学校様  
 綾瀬市中央公民館様

12月 板橋区立志村第二中学校様 江戸川区立南葛西第二中学校様

1月 足立区立第十三中学校様 江東区立深川第四中学校様

\*上記ほか、現在ご検討いただいている学校・企業がございます。  
 ~ 今後も多くの方々のマナーの応援をしてみたいです ~

## ご支援いただいている皆様

- イーハウス・アーキ・コラボレーション様 (<http://www.e-house.gr.jp/>)
- 株式会社NSGコーポレーション様 (<http://nsg-corp.net/>)
- 株式会社NTTデータ様 (<http://www.nttdata.co.jp/>)
- レストランおまかせ亭様 (<http://www.omakasety.com/>)
- 海上商事株式会社様 (<http://www.kaijoshoji.co.jp/>)
- 菊地道子税理士事務所様
- 興南プレス工業株式会社様 (<http://www.tcn-catv.ne.jp/~kounan-press>)
- コメスタ・ドーム株式会社様 (<http://comestadome.jp/>)
- 株式会社スリーライト様 (<http://www.threelight.co.jp/>)
- 株式会社タケダ様 (<http://www.kitadoco.jp/>)
- 株式会社峠喜重朗商店様 (<http://www.to-ge.co.jp/>)
- 株式会社雄大様 (<http://www.udai.co.jp/>)
- 吉井商事様 (<http://www.yoshiishoji.com/company/>)
- NPO法人りすシステム様 (<http://www.seizenkeiyaku.org/HP/home.html>)

相津美幸 荒井美智子 有岡啓太 飯野真梨子 伊藤賢二 伊藤康子 稲垣綾  
 今村光子 岩下宣子 岩下美和子 岩下義弘 内田安紀子 梅津稔 梅本久美子  
 大竹奈穂子 大畑麻綾 大藪昌代 岡田愛子 岡部達昭 折原みよ子 香月泰  
 加藤恵子 加藤幸子 金子昭信 川岸秀子 岸田輝美 木ノ原誠司 忽那美江子  
 熊澤厚子 藏満勝子 畔柳恵美 小島洋子 古関裕美 小松俊一 金野裕子  
 佐々木恵美子 佐藤元昭 澤村晶子 重松照代 島崎和子 鈴木敏夫 鈴木初江  
 鈴木美和 大徳はるみ 高野和文 高橋清美 尋木浩司 田中昌子 田辺由香里  
 土田美子 都築サチ子 鳥山真美 長塩由美 長島佳美 中山有子 根岸美紀  
 野田頭よし子 林三紀 原田さとみ 原田なおみ 原田芳宏 藤野勲 保木本清美  
 星野久子 前田美智子 松井直美 松井憲子 松尾祐子 松本桂樹 松本智子  
 三浦和昌 三浦順一郎 水倉直美 南節子 壬生実佳子 向山邦子 向山ひろ子  
 向山代志子 村上直子 森下はるみ 山本淳子 湯浅智子 吉村景美 和田香代子  
 渡邊ひろみ

(五十音順、敬称略)

表紙の写真(秋の鐘楼 南足柄市最乗寺)

今年卒寿を迎えられた写真愛好家 上遠野 浩 様のご厚意によるものです。

## 会員募集のご案内

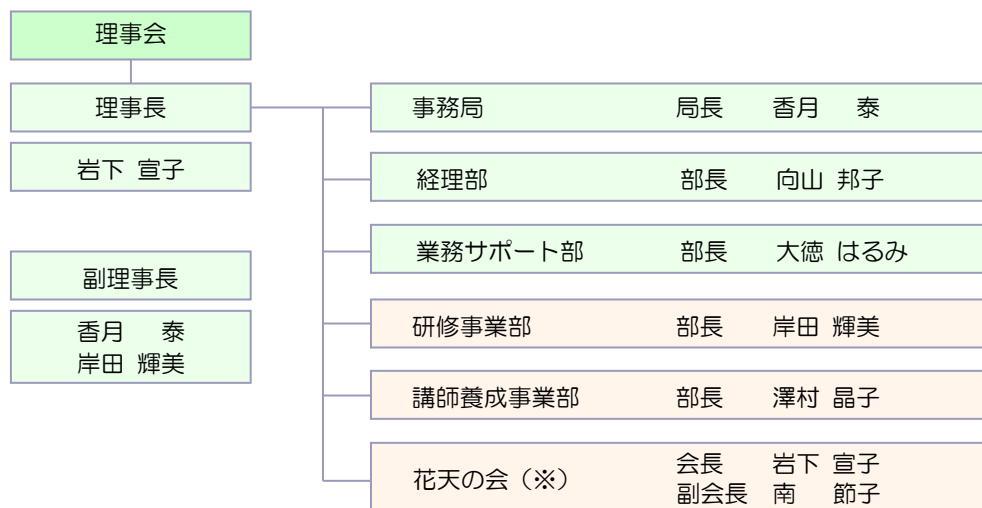
会員は、活動主旨に賛同し、支援して下さる個人または法人の皆様です。

年会費 正会員（個人） 5,000円  
 賛助会員（個人） 2,000円  
 賛助会員（法人） 1口 10,000円 より

私たちの活動にご理解を賜り、ご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

## 運営体制

活動を円滑に進めるために次のような運営体制を設けております。



※協会認定マナー講師の会

## お問い合わせ

特定非営利活動法人 マナー教育サポート協会  
 認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 10 月 20 日 東京都）  
 所在地：〒103-0003 東京都中央区日本橋横山町 4-13 太田ビル2階  
 電話：03-3527-3925  
 F A X：03-3527-3935  
 メール：e-manners@eagle.ocn.ne.jp  
 ホームページ：http://www.e-manners.org

※不在の時もございます。ご用の際はご予約をお願いいたします。  
 メールをお送りいただければ助かります。

2017 年 11 月 25 日発行（年 2 回発行予定）  
 発行・編集・制作 特定非営利活動法人マナー教育サポート協会 印刷 株式会社雄大  
 Copyright© 2017 NPO Manners Support Association. All rights reserved.